

Weekly Bulletin 2022-2023

第2510地区
Rotary INTERNATIONAL

札幌東口ロータリークラブ

6月22日(木) 第34号

第3050回 例会

本日の
プログラム

(移動例会) 職場訪問 職業奉仕委員会

(於) 北海道ボールパークFビレッジ、くるるの杜

新会員卓話 重松高浩 会員

本日は、自己紹介・警備業の現状および弊社の紹介をさせていただきます。私は、昭和43年4月22日生まれ55歳になります。生まれも育ちも九州の佐賀県です。家族構成は妻(同居)、長女28歳(別居)および長男24歳(別居)の3拠点での生活となっております。地元の佐賀県立塩田工業高校を卒業後に地元の自動車ディーラーへ整備士として入社しましたが2年足らずで退職後、綜合警備保障㈱に入社して現在に至ります。2022年4月に北海道支社へ着任して1年が経ちました。趣味がドライブなので北海道をめぐる旅として『北海道3つの海を訪ねる』をテーマとして3回に分けて主要な場所を訪問、今年は『全酒蔵を訪ねる』をテーマに一度で旅する予定です。最近は、自然豊かな北海道の地で趣味も変わりつつあり、余市港でホッケを釣ることが出来たので出刃包丁と天日干し用の網を購入して、開きやトバをYouTube見ながら加工して楽しんでおります。

警備業界では、同業社間の最初の挨拶で「主たる売上は何号ですか?」の確認が多いです。分類は4つに分かれており、皆さんよく目にする交通誘導業務は2号、現金輸送車での業務は3号となります。弊社では施設(機械)警備業務が主たる業務にて1号となります。4号は身辺警護業務で、一般には総理大臣等要人警護をする“SP”的民間版と説明した方が分かりやすいかも知れません。警備会社は1万社を超え警備員は約59万人となり全国の警察官約26万人(令和3年警察度白書より)の2倍以上となります。警備員より警察官が少ないので、弊社は、1965年に設立し本社を東京都港区元赤坂に置き、セキュリティ事業を主としながら最近では介護事業も展開している会社となります。施設警備ではフジテレビジョンや東京スカイツリー等、誰もが知る有名な施設の契約をいただいております。4月に札幌で開催されたサミットG7札幌、気候・エネルギー・環境大臣会合の自主警備についても、弊社グループおよび協力会社にて実施したところですが、2021年に開催された東

京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、弊社が共同代表となり全国553社でJVを組成し、延べ47万人の警備員にて、警備業務を全国の会場で実施するなど民間警備会社でレガシーとなるものでした。警備員になるには、警備業法で定められた時間と内容を教育する必要があり入社後、最初の難関となる5日間泊りの研修で精神を鍛え直します。研修日数を重ねる度に人数が、脱落者により少なくなります。よろしければ、私どもが二度と経験したくない研修を“ALSOK塾”として外販しておりますので、体験することも可能ですが…。海外では13拠点展開しております。警備員は現地の元軍人などを採用して日系企業向けに日本式警備業務の提供を行っております。

またCSR活動として小学校における防犯授業や救急救命授業を社内の警備員等による有志が『ALSOKあんしん教室』を全国で無償開催しております。警備員としてもモチベーションになっているようで5万回以上開催し参加児童数も170万人以上となりました。また、札幌市などが主催の小学生向け就労体験イベント『ミニさっぽろ』にて体験プログラムを提供しております。実際に業務を行っている警備員が講師となり初回の2009年から10年以上にわたり体験プログラムを提供、小学生用に準備した護身用具を身に着け、警備員が行っている業務を疑似的に体験、警備輸送業務で使用している現金輸送車の見学や応急救護の訓練もプログラムの一つとして実施しております。

最後に、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が進み、警備業界の人手不足は今後も続くと予想されます。その解決策としては、技術革新の成果を活かして、ビジネスモデルを抜本的に変革し、生産性を向上させて行きたいと思っております。今後もよろしくお願い致します。



2022-23年度 国際ロータリーのテーマ

「イマジンロータリー」

国際ロータリー会長:ジェニファー・ジョーンズ

■本日のロータリーソング

なし

IMAGINE ROTARY